

頭首工取水ゲート遠隔操作システムの整備による溢水被害の防止 (小規模土地改良事業【日野市日野用水堰地区】)

事業の概要

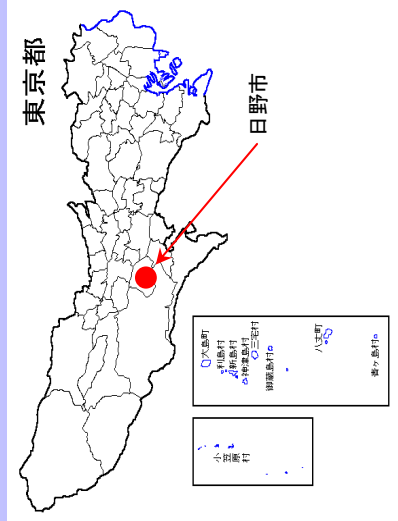
○目的

本地区は、東京都の中央部を貫流する多摩川の日野用水頭首工より取水された農業用水が流下する水路が走っている。水路は市街化区域を流れており、都市化に伴い水路周辺が整備・舗装され、豪雨の際には周辺の排水が集中して流れ込み、洪水や溢水による被害が発生していた。

このため、平成16～17年度で農地防災事業により、水路の脆弱化や流下能力が低下した箇所を改修を行った。更に水路内の流量をコントロールし、災害の未然防止・農業用水の安定供給を図るため、平成18年度に頭首工取水ゲートの遠隔操作システムの整備を実施した。

○概要

事業名	小規模土地改良事業(用排水施設整備)
地区名	日野用水堰地区
関係市町村	日野市
事業工期	平成18年度
受益面積	28.5ha
主要工事	取水ゲート遠隔操作システムの整備



地域の状況

《機能低下》

■都市化により、排水が集中して流入し、洪水や溢水被害が発生。土水路や護岸等脆弱部の崩壊により、流下機能が低下していた。



事業の実施状況と効果

水路の改修(農地防災事業)

- 土水路や護岸脆弱部の改修により流下機能を確保。
- 整備に当たっては、自然石を利用した玉石護岸とし、底面を土水路のまま残し、景観・水生動植物に配慮。



小規模土地改良事業の実施

- ★小規模土地改良事業(都単独事業)で、日野用水頭首工の取水ゲートに遠隔操作装置を設置。
- ★システム構築によりリアルタイムのゲート開閉が可能となり、豪雨等に際し取水量を制御し、水路内の流量を抑制することにより、洪水や溢水被害発生を更に防止することが可能となった。
- ★コンピュータの他、携帯電話での操作も可能である。

